

附属の学校

附属中学校

新設に関する 進捗について

本学は、中央大学附属高等学校（東京都小金井市貫井北町）に隣接する国家公務員宿舎跡地を中高一貫教育を展開する中学校開設用地として購入し、2008年3月28日に東京都へ「中央大学附属中学校」設置認可申請を行いました。

5月19日に開催された東京都私立学校審議会での設置計画承認を受けて、5月20日に建設工事に着工しました。工事は、2009年2月2日時点で、新校舎を上棟し、内装・外装工事をしています。

学校規模は、入学定員150人、収容定員450人とし、1学級30人編成（1学年5学級）の少人数教育を行います。これに伴って附属高等学校の定員は同数を減じて1学年350名とします。

教務・授業計画では、中学校からの内部進学生と高等学校からの入学生の混交を、文理コース分けにあわせて、高等学校2年次に行います。各教科の授業計画・評価計画等もおおよそ固まり、現在、中高一貫のカリキュラムおよびシラバスを詳細に

検討し、新学習指導要領の内容に合わせて競争力のある教育課程の設定を行っています。また、総合的な学習の時間ではロースクール等との連携も検討しています。

制服もほぼ決まりました。豊富なアイテムの中から、自らコーディネートすることができる「中附スタイル」としました。

入試に関しては、競合校の入試実施状況およびその他の中学入試に関する様々な情報を勘案し、実施要項をまとめました。設置認可後、直ちに発表する予定です。

設置認可申請は、2009年6月に2次申請書類の提出を行い、9月に審査結果が出る予定です。

現在2010年4月1日開校を目指して着実に準備を進めています。

(左)2008年6月5日着工時全景
(右)2009年2月2日全景



本学では、かねてより、中高大一貫教育の在り方を重要な課題として位置付け、種々の附属学校拡充策を検討してきました。既に、進捗中の「附属中学校の設置計画」も、その一環です。そして、更なる附属学校拡充の施策として、神奈川県横浜市に所在する「学校法人横浜山手女子学園」との提携に向けた取組を開始することを、昨年2月18日(月)開催の理事会において決定し、同日付でマスコミ発表を行いました。

具体的には、本学と同学園との間に協議会形式による検討体制を発足させ、同学園附置の中学校・高等学校の質的向上と本学附属学校政策の進捗を指向しながら、同学園の系属・合併及び同学園に附置する中学校・高等学校の本学附属学校化の可能性を検証することとしました。

この協議会は、それぞれの学校法人の

外の機関として位置付け、各学校法人の考え方やそれぞれの学内での決定事項を持ち寄って合意形成する場としました。すなわち、協議会において合意可能となった事項は、各学校法人に持ち帰り、意思決定機関に諮ってはじめて確定します。

この基本的考え方に基づき、①横浜山手女子学園の経営者は、学園附置の中学校・高等学校担当教員の教育力を向上させるため、その環境づくりに万全を期すこと、②本学から、中学・高等学校担当教員の教育力向上を支援する2人の教諭と1人の職員を2008年4月1日から派遣させることを確定し、現在は、教員の教育力及び生徒の学力が向上して、本学附属学校としての水準を十分に満たすものとなるよう、種々の取組が、同学園において鋭意推進されています。

本学と学校法人横浜 山手女子学園との 法人系属・合併に 向けた取組